

集中監視システム地域共同管理体制の構築に関する調査結果概要

1. 実施者

小林西諸地区エルピーガス事業協同組合

2. 調査概要

(1) 目的

集中監視システムについて、個々で導入するよりも地域で共同運用することが、メリットがあると思われるが、メリットの内容及びデメリットについて調査検討することを目的とした。

(2) 実施方法

検討委員会の設置、 先進地視察、 講師を招聘しての説明会

3. 調査結果概要

集中監視システムの基本システム

導入に際するメリット・デメリット

地域共同管理体制のメリット・デメリット

の理解が出来た。

4. 調査結果から得られた効果

当組合員各々が、集中監視システムの概要の理解、集中監視システムを導入した場合のメリット・デメリット等を理解することが出来たことにより、取り組みに対して前向きに検討することが出来るようになった。

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

組合の特色を出した集中監視システムを核としたサービスに取り組む場合、公共機関等とシステムの相互利用を図ることが賢作と思われ、そのための協議を開始するとともに、集中監視システムだけでなく地域で共同化が図れる事業を検討していく。 また、集中監視システム導入に併せ、現在のLPガス料金システムを抜本的に見直し、消費者に分かりやすいPガス料金の構築を図ることとする。 更には、数年後に販売開始が予想される燃料電池等にも、組合員が容易に取り組むことができる環境作りが整備出来るよう検討を実施する。

6. 補助金確定額

1,900,000円